

(代表質問)

質問日	令和3年11月30日(火)		質問方式	分割方式			
質問順位	2	会派名	創造浜松	議席番号	21	氏名	遠山 将吾
表題	質問内容						答弁者の職名
1 新型コロナウイルス感染症の影響について	<p>新型コロナウイルス感染症もかなり抑えられ、これからは、地域活性化を図っていくフェーズに入っていかなければならない。地域社会では、それまで行われていた活動の多くが中止、または大幅な規模の縮小を余儀なくされ、2年連続で中止となった行事も多い。今後、活動を再開するに当たっては、非常に大きなエネルギーを必要とする。</p> <p>また、学校行事の多くも中止、縮小が続いており、さらには学校と地域の連携強化に資する地域の人たちの学校行事への関わりも縮小されているが、再活性化を図る必要があると考え、2回の緊急事態宣言を経た市民活動の総括として、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 児童・生徒たちの生活、地域との連携について伺う。 (2) 地域活動についての現状と今後について伺う。</p>						花井教育長 奥家市民部長
2 人口減少社会と人口ビジョンについて	<p>区再編の議論の中、大変に重要な決定であった天竜区の単独か複合かを判断する上で、私が最も重要だと考えたのは人口動態であり、地域の今後の姿を検討する上では、まずはデータで可視化することが必要である。平成27年の浜松市やらまいか人口ビジョンには、人口分布や将来人口分布、主要な生活関連施設と将来人口分布(増減率)の関係などの掲載があるが、令和2年の改訂版にはそれらの掲載がなくなっている。そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 浜松市やらまいか人口ビジョンにおける将来推計人口について伺う。 (2) 浜松市やらまいか人口ビジョンに区ごとの将来推計人口を掲載すべきと考えるが、考えを伺う。</p>						石坂企画調整部長
3 情報政策・デジタルガバメントについて (1) 情報政策について (2) デジタルガバメントについて	<p>今後は国による自治体システムの標準化が進められ、データのクラウド環境への移行が進むことで、自前のサーバーやネットワーク維持管理業務のボリュームは減少し、基盤整備についてある程度職員の役割も軽減されることが予想される。そこで、以下3点について伺う。</p> <p>(1) クラウド環境への移行や自治体のシステム標準化などが終わった後の情報政策の在り方について伺う。 (2) デジタルガバメントは、区再編の議論と併せ、より強力で推進する必要があるが、実際のユーザーとなる市民にとって、どのような社会になるのか想像することは難しいのが現状である。そこで、今後どのくらいの行政手続の見直しが想定され、それにより生活にどのような影響がもたらされ、どのくらい利便性が向上するのかが問</p>						石坂企画調整部長 内藤デジタル・スマートシティ推進事業本部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>われている。</p> <p>「書面規制、押印等見直し指針」及び「市民の利便性の向上に向けた行政手続等のオンライン化の推進方針」を踏まえ、電子申請導入についての進捗と今後の進め方、見直しについて伺う。</p> <p>(3) ICT活用が当たり前の世代が社会の中心となる近い将来、自治体は発信する情報や手続などの紙媒体と電子媒体の比重について、さらなる見直しが必要となる。例えば、先ほど質問した行政手続に関しても、現在は紙による通知を送り、それを基に申請を依頼しているものも、デジタル化により紙による通知を極力少なくできる。同じく、学校からの通知等もデジタルの活用で削減されてきているが、さらにデジタルの活用を進めることで、ペーパーレス化や教職員の仕事の効率化につながる。</p> <p>ア 市民向けに発行する通知や案内等のペーパーレス化に対する考えについて伺う。</p> <p>イ 学校からのお便りなどのデジタル化の進捗について伺う。</p>	<p>内藤デジタル・スマートシティ推進事業本部長 田中学校教育部長</p>
<p>4 子供の学習環境・生活環境について</p> <p>(1) ICT環境について</p> <p>(2) 子ども食堂・子供の居場所事業の現状について</p>	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、様々な分野のデジタル化が急速に進み、特に注目を集めたのが子供たちの学びのデジタル化である。児童・生徒にはGoogle社のChromeBookが導入され、一人一台の端末整備を進めてきたが、教職員は基本的にWindowsPCを使っている。</p> <p>ア 教職員用のChromeBookの整備状況と活用状況について伺う。</p> <p>イ 授業動画の作成・配信環境について伺う。</p> <p>(2) 浜松市子ども・若者支援プラン「子どもの未来サポートプロジェクト（浜松市子どもの貧困対策計画）」が令和3年10月から令和7年3月を計画期間としてスタートした。子ども食堂は、食を通じて地域の子供たち、そしてその保護者とのつながりをつくることできる。また、浜松市子ども支援コーディネーターやスクールソーシャルワーカーなどと連携することで、必要な機関へのつなぎも可能な社会資源となり得る。子供の未来のサポートにつながる施策の強化、民と官をつなぐ市民協働の体制づくりが必要である。</p> <p>ア 今年度実施された子育て家庭向け食料品等無料配付会（フードパントリー事業）の実績と、当該事業の</p>	<p>田中学校教育部長</p> <p>〃</p> <p>鈴木こども家庭部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>課題、今後の展開について伺う。</p> <p>イ 当該事業を実施するに当たっての周知や、民生児童委員、主任児童委員、スクール・ソーシャルワーカーとの連携はどうか伺う。</p> <p>ウ 子ども食堂の現状と課題について伺う。</p> <p>エ 子ども食堂に対する本市の果たすべき役割と補助制度の創設について伺う。</p> <p>オ 子ども食堂をはじめ、子供の居場所づくりは市民の草の根の活動で行われているところも大きく、それらの小さな点をネットワーク化することが非常に有効であるとする。今は、その点の部分を強化し、そのベースが構築できた上での子供の見守りサポート事業が有効であると思うが、その考えと、今後の展開について伺う。</p>	
<p>5 区再編と住民自治、地域特性について</p> <p>(1) 民生児童委員の年齢要件・例外規定の考え方について</p> <p>(2) 山里いきいき応援隊の活動について</p>	<p>(1) 民生児童委員及び主任児童委員の年齢要件について、高齢化により人選が難しいという問題は、市街地や住宅街にある自治会でも同様に起こっている。そこで、民生委員などの年齢要件、例外規定の考えについて伺う。</p> <p>(2) 行財政改革・大都市制度調査特別委員会において、天竜区単独案を決めた際に、特別な地域特性があるということが、委員会が天竜区を今後も一つの単位として行政運営することを決断した主な要因であった。</p> <p>中山間地域の活性化を担う山里いきいき応援隊は、地域課題を見つけ、解決するため担当地域に居住し、また地域活性化に資する事業を実施している。天竜区が一つのまとまりとして今後も継続的にあり続けるという方向が定まった今、山里いきいき応援隊の活動について、担当エリアを越え、各地域間の事業を連携させ、一つの目的のために、天竜区全体が一緒に動き出すということを考えていくべきであるとする。</p> <p>ア 山里いきいき応援隊のこれまでの成果と課題について伺う。</p> <p>イ 定住を目指すためには、その担当する地域に将来の生活の糧となる資源がなければならないが、活用できる地域資源にはどのようなものがあるとするのか伺う。</p> <p>ウ 担当地域に限定するのもよいが、天竜区全体をエリアとして、例えば学校の合宿誘致やオンパクなど、一つの事業を複数人で行うようなプロジェクトがあってもよいと思うが、その考えについて伺う。</p> <p>エ コミュニティ担当職員との連携は十分にとれているのか伺う。</p>	<p>山下健康福祉部長</p> <p>奥家市民部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>(3) コミュニティ担当職員の現状について</p>	<p>(3) コミュニティ担当職員の活動が地域で認められるためには、本当の意味での地域課題の解決に資することが必要であり、協働センターの外にある本物の社会課題について、解決の実績を積んでいかなければならない。そうした技能の向上は、研修や職員間での意見交換では限界がある。例えば、地域の非営利団体や公共の福祉に資する団体などに属して、実際の地域社会の中で、地域課題に向き合う活動を経験するなどが、コミュニティ担当職員の能力向上を図る上で最も効果的な方法であると考える。</p> <p>ア コミュニティ担当職員の、地区担当職員としての地域課題の把握状況、認識について伺う。</p> <p>イ 地域における計画策定など、コミュニティ担当職員の役割の高度化のための取組について伺う。</p> <p>ウ 庁内公募の運用状況について伺う。</p> <p>エ 市長事務部局の職員の兼業の内容について伺う。</p> <p>オ コミュニティ担当職員の兼業を奨励していく考えはないか伺う。</p> <p>カ 兼業により得られた知識や人的ネットワークが、公務によい影響を与えると考えるかどうか伺う。</p>	<p>奥家市民部長</p> <p>〃</p> <p>金原総務部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>